

鈴木賢二展 彫刻家・木版画家



VALUE The 賢二 2023

額から飛び出たケンジさん



2023 5月20日(土)

～ 6月11日(日)

会場 栃木市 蔵の街市民ギャラリー
入館無料 栃木市蔵の街大通り(万町3-23)

開館時間 9:00～17:00
(火曜日休館)

主催:鈴木賢二展 VALUE The 賢二 2023を創る会 共催:栃木市・栃木市教育委員会・栃木市立美術館
創る会事務局:鈴木賢二作品展室 如輪町 栃木市富士見町2-4 tel.0282-22-1093

ポスター作画 空美

関連イベントは/
コチラをチェック



@KENJI.2023



1959年頃 家族

鈴木賢二

- ・1906年 栃木県栃木市に生まれる
- ・1925年 東京美術学校(現・東京藝術大学)彫塑科入学
- ・1929年 日本プロレタリア美術家同盟書記長に就任
- ・1946年 日本美術会創立に参加、北関東支部長に就任
- ・1954年~59年 益子に移住。版画/陶芸/郷土玩具/民話等を発表
- ・1960年~64年 東京雑司ヶ谷の異人館に暮す 木版画制作
- ・1964年秋 病に倒れ栃木へ帰郷
- ・1987年 栃木市の自宅で逝去 81歳
- ・2017年 「鈴木賢二 没後30年展」開催 栃木市
- ・2018年 「没後30年 鈴木賢二展」開催 栃木県立美術館



2022年 Sasquatchfabrix. ×賢二作品



1963年 失対打ち切り反対

鈴木賢二は1906年(M.39)栃木県栃木市の素封家に生まれました。”プロレタリア芸術家”とも称せられたのは、彼の作品が社会の底辺に生きる人々をモチーフにしているゆえ、相応しいと言えましょう。しかし、彼の歩みを作品と共になぞってみると、”プロレタリア芸術家”という括りだけではとらえ切れない生きざまと人となりが見えてきます。では、その時代々々の行動を支えていた彼の思想とは何だったのでしょうか。それは、”プロレタリア”という言葉から連想される”階級”や”闘争”といった対立の概念ではなく、その時々に出会った人、出会った世界を大切にしたい(Value)慈愛にも似た姿勢です。

アパレルデザイナー横山大介氏が「労働者を大切に・Value The Working Class」をテーマに、1960年代の賢二の作品を自身のコレクション(22・23AW コレクション)にデザインし、そのファッション哲学を世に問うたのは、コロナ禍で不安や緊張、疎外感を抱きながら生きる人々へのエールであり、賢二が持つ慈愛の投影と言えましょうか。

本展覧会は「VALUE=大切にしたい」をキーワードにして、賢二の生涯と作品をたどりながら、その「今日性」を見つめようとする試みです。

【同時企画】

ケンジをパフォーマンス
【会場】 栃木高校講堂

ワークショップ

会場 栃木市立美術館 “つなてみち”

オープニングセレモニー & トークショー

5/20(土) 入場無料

【開会】13:30~

賢二の今日性を語る

出演

- ・横山 大介(デザイナー)
- ・大平 龍一(彫刻家)
- ・友常 勉(東京外国語大学大学院教授・鈴木賢二研究会)
- ・コーディネーター・中村 恵一

「語りと映像で綴る 賢二ヒストリア」

5/28(日) 入場無料

【開演】14:00~

出演

- ・磯 秀明(俳優)
- ・茂呂 久美子(朗読を楽しむ会)
- ・山極 鈴羽(賢二ひ孫)
- ・須田 千香良(チェロ)

「ケンジを奏で舞う」

6/4(日)

【開演】14:00~

【入場料】2,000円

出演

- ・木村俊介(笛・三味線他)
- ・稲葉美和(箏)
- ・安藤喜代(ダンス)
- ・石川歩夢・直井陽斗(パフォーマンス)

拓版画

「ケンジを刷る」

5/21(日)

【時間】14:00~

【参加費】500円

【定員】12名

【講師】柴崎万里奈
(版画家・FMくらら857 パーソナリティ)

完成した作品は一定期間、栃木市立美術館“つなてみち”に展示されます。



JR両毛線・東武日光線栃木駅下車 徒歩15分

キッズダンス/ダンスユニット1♡2

「神出鬼没・ケンジと遊ぶ」

踊り遊ぶ子どもたちはどこで出あう？

お問い合わせ・お申し込み

創る会事務局: 0282-22-1093

鈴木賢二作品室: 如輪房

お電話又はインスタのDMにてお問い合わせ下さい。



1958年頃 ひまわりと編

ご案内

【栃木市立美術館】開館記念展
「明日につなぐ物語」4/15(土)~6/18(日)

応援 【蔵の街ショーウィンドー永楽屋】

企画 「鈴木賢二・子どもの世界」ネットワークとちぎ・栃木おやこ劇場

後援: 朝日新聞宇都宮総局・下野新聞社・産経新聞社宇都宮支局・東京新聞宇都宮支局・毎日新聞宇都宮支局・読売新聞宇都宮支局・ケーブルテレビ株式会社・FMくらら857